

会長スピーチ (江上 泰弘 会長)

こんばんは、今日の例会は熊本グリーンロータリークラブの35周年記念例会です。創立記念日は2月22日になります。国際ロータリーの創立記念日は1905年日露戦争の最中の2月23日です。一日早い日であります。

グリーンクラブは、平成元年2月22日に設立総会を行っています。設立時38名の会員でスタートして最高48名まで会員が増えています。

平成11年に入会した私の活動の思い出には、「辛島町のバラの植樹と手入れ」や「在熊留学生の日本語弁論大会」また、「中国帰国者の日本語支援」などがありました。

今日は、35周年の節目です。節から目が出ると言います。グリーンクラブには40周年には40名の会員をの4040計画があります。節から出る小さな芽を育てて、たくさんの仲間と楽しく親睦や奉仕活動に励みたいと思います。

幹事報告 (山口 翼 幹事)

<例会変更・取り止め>

●例会変更

[熊本中央 RC] 3月29日(金)の例会は、お花見例会のため、同日18:30より、「FU TEN TEN(フーテンテン)」にて行います。

●例会変更

次の例会は、定款第7条第1節に基づき、取り止めます。サインメーキャップは行いません。

[熊本南 RC] 3月18日(月)

[熊本'05福祉 RC] 3月19日(火)

[熊本中央 RC] 3月22日(金)

スマイル (田代 武 会員)

●江上泰弘君、山口 翼君

「本日は熊本県立美術館 参事 宮川聖子様にお越し頂きました。土方歳三資料館×肥後熊本藩についてのお話楽しみにしております。宜しくお願い致します。」

●河島 一夫 君、栗山 義則 君

「本日は創立記念例会で、今、県立美術館で行われている新線組と熊本の武士との関わりを学芸員の宮川さんが苦労して調べての展覧会です。

大変興味深い話しをされると思います。宜しくお願いします。」

●松村 秀逸 君

「グリーンロータリークラブ創立35周年例会の開催を皆様方と祝いたいと思います。本日は記念卓話者宮川聖子様にご心より感謝し、スマイル致します。」

●伊津野良治 君

「記念の会、お目出とうございます。長い間があっと思う間です。これからも皆様についていかせて下さい。」

●田中 慎二 君

「今日は創立35年例会です。皆でしっかりお祝いしましょう。本日の記念例会土方歳三資料館と肥後熊本藩のお話、楽しみです。宮川様宜しくお願い致します。又、昨日は別のイベントで田中 純司さんと荒木さんに協力頂きました。ロータリーの絆に感謝します。」

●宮部 康弘 君

「本日は35周年例会です。宮川様の有意義な歴史の話しを聞きながら、35年の歴史を感じる時間にしたいと思います。本日も宜しくお願いします。」

●田代 武君

「本日は熊本県立美術館の宮川様の卓話楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。」

出席報告 (出席担当 下田 祐輝 会員)

	会 員 総 数	21名	出席率
2月 26日	出席免除会員数	0名	66. 67%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	14名	
1月 29日	前回の出席会員数	名	
	メイクアップ数	名	
	修正出席会員数	名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
な し			

3. 記念卓話

「土方歳三資料館×肥後熊本藩について」



紹介者：河島一夫会員



卓話者：熊本県立美術館 参事 宮川聖子様

細川コレクション特別展 土方歳三資料館×肥後熊本藩

展覧会概要

会期 2024年1月10日(水曜日)～2024年3月24日(日曜日)

※1月10日のみ、12時00分～開館

天保6年(1835)5月5日、武蔵国多摩郡石田村(現・東京都日野市石田)に生まれた土方歳三は、11歳で江戸に出て奉公を経験し、その後薬の行商のかたわらで天然理心流を研鑽。この剣術を通じて、4代目宗家を継いだ近藤勇との出会いがありました。

文久3年(1863)、将軍・徳川家茂の上洛に際し、幕府が剣術心得のあるものを徴募したため、歳三は近藤ら試衛館の同志と共に上京。その後、浪士組を母体とする政治集団「新選組」を発足させ、洛中洛外の警備にあたりました。とくに有名なのは「池田屋事件」に功績を挙げたことでしょう。

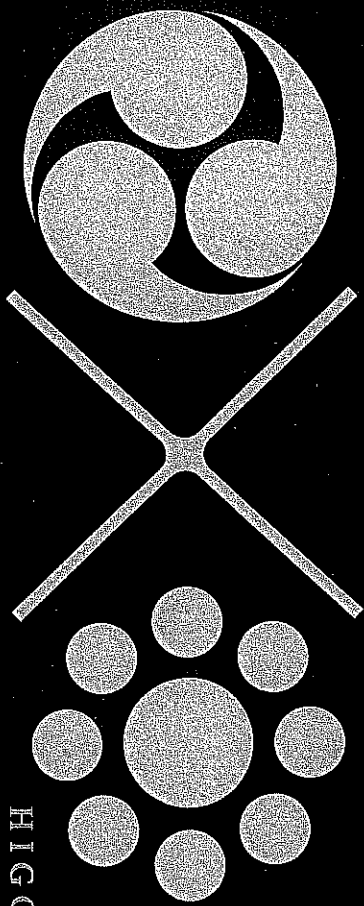
明治元年(1868)の鳥羽・伏見の戦いでは、歳三は怪我の近藤に代わって隊を指揮します。敗れて東帰した後は、幕府主戦派の一隊と合流。宇都宮、会津と転戦し、仙台にて幕臣・榎本武揚と諮り、蝦夷へ渡り箱館五稜郭に入城。ここで歳三は、蝦夷仮政権の陸軍奉行並という重職に就き、新政府軍と壮絶な戦いを繰り広げました。そして、明治2年(1869)5月11日、諸兵隊を馬上で指揮している中、流れ弾に当たり、35年の生涯に幕を降ろしました。

本展は、土方歳三資料館の所蔵品を中心にして、激動の幕末維新时期を駆け抜けた、“新選組副長・土方歳三”の軌跡をご紹介します。また、この機会に合わせて、永青文庫所蔵の肥後熊本藩が記録した“新選組”にまつわる古文書等を展示します。

細川コレクション特別展

HIJIKATA TOSHIZO MUSEUM

土方歳三資料館



HIGOKUMAMOTO DOMAIN



熊本県立美術館[本館] 別棟展示室

2024年 1月10日(水)~3月24日(日)

※1月10日のみ、12:00~開館。

※作品保護のため、会期中に展示替えを実施。詳細は当館HPをご確認ください。

(開館時間)9:30~17:15(入館16:45まで)

(休館日)月曜日。月曜祝日の場合は翌平日休館。

観覧料/一般700円(500円)、大学生500円(400円)

※()内は20名以上の団体料金。高校生以下は無料。障がい者手帳をお持ちの方無料。

【主催】熊本県立美術館/熊本日日新聞社/RKK熊本放送 【共催】土方歳三資料館

【特別協力】公益財団法人永青文庫/熊本大学永青文庫研究センター

【協力】肥後銀行 【後援】山鹿市/山鹿市教育委員会

【協賛】いそざきの家



株式会社 日創アーキテクト
株式会社 緑研

《土方歳三肖像写真》土方歳三資料館画像提供

土方歳三佩用(刀 銘和泉守兼定)慶応3年(1867)2月日 土方歳三資料館所蔵

肥後熊本藩